

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 12月20日

公表: 令和 7年 2月 1日

事業所名 _____ 放課後デイ ゼロ・パワー _____

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	施設は広くはないが、適宜机などを移動し、リトミックや運動などに必要なスペースを確保し、行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	8	0	事前の打ち合わせで児童の特性を考慮した職員の配置を話し合っています。	サポートスタッフの配置を増やし、よりきめ細かい支援ができるようにしました。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	予定や、やるべきことを視覚情報化し掲示し、わかりやすくしています。	現在、身体での障がいの児童がいないので、多少の段差には対応できているが、今後の受け入れによっては、検討が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	明るい色を使い、季節感を感じるレイアウトにしています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	毎年、保護者に事業所評価をしていただき、保護者の意向などを把握し、職員で話しあっています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	自己評価表、保護者からの評価表は、改善の内容をくわえ、ホームページで公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	0	社労士さんに来ていただき、業務改善提案をいただいています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	障がい児成長支援協会の研修などを、年に数回受けています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	支援計画は、保護者、職員と話し合い、作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	基本プログラムはあるが、内容は、支援者で話し合って固定化しないようにしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0		

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	日々の支援の内容は、児童ごとの活動記録表に毎回記録しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	基本的には、児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	4	対象児童が在籍していません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協医療機関等と連絡体制を整えている	2	4	対象児童が在籍していません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	4		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	学校でのお迎え時に先生との情報交換を行っています。また、ご要望があれば、保護者の学校での面談時に同席させていただいています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	ご自宅への送迎時や、ライン、活動記録で、児童の状況は、細かく伝えるよう、努めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	0	家庭連携などで、保護者からの相談に対応し、助言を行っています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	日頃から、保護者が相談しやすい雰囲気を作り、送迎時や、ラインなどで、気軽に相談していただけるよう努めています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	令和6年度は、保護者同士集まり(茶話会)を実施し参加された方から好評でした。	今後も保護者
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	相談や、申入れがあった場合は、できるだけ速やかに返答をし、職員で話し合い、対応をしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	3	Instagram, Facebookで活動を発信しています。予定、連絡などは、LINEでお伝えしています。	

非常時等の対応	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	SNS上に児童の写真などを載せる時は、必ず保護者の同意を得ています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	ハロウィンなどのイベント時に近隣のお店の方に協力をいただき、交流をもつ機会を作っています。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	定期的に避難訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	契約時に書面で確認をさせていただいています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	契約時に書面で確認をさせていただいています。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	ヒヤリハット事象が起きた場合、書面に残し、対策などを職員全員で話し合い、共有しています。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	毎年、虐待研修を行っています。また、支援者ひとりひとりが、チェックシートで自身の支援を振り返り、虐待行為がなかったかなどを確認しています。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	身体拘束をする可能性がある児童の保護者には、他害の危険がある時、興奮しけがをする恐れがある時などに身体拘束をする可能性があることを伝え、書類に署名を頂いています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。